

2021年10月13日

E S A音楽学院専門学校

校長 森上 芳郎

2021年度自己評価報告書

1、 教育目標

～校訓～

創造 克己 奮励

～教育理念～

- ・ 大好きな吹奏楽を仕事にしたいという想いに応える。
- ・ 社会に広く貢献できる人材を育成する。

～教育方針～

- ・ 感性豊かな人間性の醸成
- ・ 知識技能の徹底錬成
- ・ 克己心の育成

2、 自己評価について

2021年度は昨年度来の新型コロナウイルス感染症のため、緊急事態宣言や、まん延防止等対策が発令、解除の繰り返しで学校運営は混乱をきたしましたが、生徒及び教職員のワクチン接種も進み、大阪府の指標も黄色水準に達したことから、後期授業開始に当たり校務を平常体制に戻して運営しているところです。しかしながら第5次、第6次のまん延に備えて校舎の消毒及び衛生管理意識の徹底は継続して行きます。

さて、昨年に引き続き2020年度の自己評価を実施いたしました。評価する項目としては昨年と同じく「教育理念・目的・育成人材像」、「学校運営」、「教育活動」、「学修成果」、「学生支援」、「教育環境」、「学生の募集と受け入れ」、「財務」、「法令等の遵守」、「社会貢献・地域貢献」と10種類の大きい項目についてアンケートにより聴取いたしました。評価の基準として「3・優れている」、「2・適切」、「1・改善が必要」の3種類のポイントを設定、それぞれの平均ポイントを列挙いたしております。平均ポイントが1点台の項目におきましては、その原因と対策を自己評価委員会で検討して、改善に取り組んでいく所存です。

自己評価を行うことで、学校職員各自がそれぞれの職位ごとに業務全般をつぶさに評価点検できたことは今後の校務運営に大いに寄与するものと確信しております。

3、 自己評価アンケート集計結果

授業を受け持つ教員及び常勤職員を対象の無記名アンケート。

評価対象期間は2019年4月1日から2020年3月31日まで。

評価項目				
(3 : 優れている 2 : 適切 1 : 改善が必要)				
<教育理念・目的、育成人材像>			前年度	今年度
1	理念・目的・育成人材像は定められているか		2.75	2.75
2	学校における職業教育の特色はなにか		2.67	2.75
3	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		2.25	2.42
4	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・学生・関係業界・保護者等に周知がなされているか。		2.18	2.25
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		2.45	2.50
<学校運営>			前年度	今年度
6	目的等に沿った運営方針が策定されているか		2.17	2.25
7	事業計画に沿った運営方針が策定されているか		2.08	2.33
8	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか		1.92	2.17
9	人事・給与に関する制度は整備されているか		2.33	2.33
10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか		2.33	2.42
11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか		2.80	2.80
12	教育活動に関する情報公開が適切になされているか		2.08	2.33
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか		1.83	2.17
<教育活動>			前年度	今年度
14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか		2.42	2.42
15	教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		2.42	2.25
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		2.42	2.42
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		2.25	2.33
18	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか		1.73	1.92
19	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか		2.08	2.17
20	授業評価の実施・評価体制はあるか		1.92	2.17

21	職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	1.75	2.17
22	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	2.50	2.58
23	資格試験の指導体制・カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか	1.82	2.42
24	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.25	2.17
25	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントがおこなわれているか	2.17	2.00
26	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がおこなわれているか	1.67	1.83
27	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	1.50	1.83
<学修成果>		前年度	今年度
28	就職率の向上が図られているか	2.25	1.83
29	退学率の低減が図られているか	2.00	2.08
30	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.08	2.25
31	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.18	2.00
<学生支援>		前年度	今年度
32	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	2.08	2.17
33	学生相談に関する体制は整備されているか	2.17	2.08
34	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	2.25	2.25
35	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2.17	2.17
36	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.25	2.08
37	学生の生活環境への支援は行われているか	2.00	2.25
38	保護者と適切に連携しているか	1.75	2.00
39	卒業生への支援体制はあるか	2.08	2.25
40	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	2.25	2.17
41	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	1.83	1.75
42	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	1.75	1.58
<教育環境>		前年度	今年度
43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	1.58	1.75
44	学内外の実習設備・インターンシップ・海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	2.17	1.83
45	防災に対する体制は整備しているか	1.92	2.25
<学生の募集と受入>		前年度	今年度
46	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組をおこなっているか	2.08	2.42

47	学生募集活動は適正に行われているか	2.33	2.33
48	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	2.33	2.50
49	学生納付金は妥当なものになっているか	2.25	2.55
<財務>		前年度	今年度
50	中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	2.00	2.33
51	予算・収支計画は有効かつ妥当なものになっているか	2.17	2.33
52	会計監査が適正に行われているか	2.25	2.42
53	財務情報公開の体制整備はできているか	2.18	2.42
<法令等の遵守>		前年度	今年度
54	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	2.36	2.45
55	個人情報に関しその保護のための対策が執られているか	2.17	2.27
56	自己評価の実施とその問題点の改善に努めているか	1.92	2.27
57	自己評価結果を公表しているか	1.82	2.60
<社会貢献・地域貢献>		前年度	今年度
58	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	2.17	2.18
59	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	2.17	2.09

(それぞれの項目の合計点を回答者数で除算し、小数点第三位以下を四捨五入している。)

4、評価平均が 2 : 適切を下回った項目について。

18	関連分野の企業・関係施設等・業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	1.92
・コロナ禍が落ち着いた頃に、積極的に行っていく。		
26	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組がおこなわれているか	1.83
・教員による学校外の実技活動を推奨する。		
27	職員の能力開発のための研修等がおこなわれているか	1.83
・公開授業を行い意見交換を行う。		
28	就職率の向上が図られているか	1.83
・公務員コースに関しては受験先に応じた個別支援を行う。 ・リペアコースに関しては、就職先の拡充を行う。		
41	高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	1.75
・キャリア教育・職業教育の企画検討をする。		
42	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等を行っているか	1.58
・再教育プログラムを作成する。		
43	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備しているか	1.75
・今後も継続して行っていく。		

44	学内外の実習設備・インターシップ・海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか	1.83
・感染状況やワクチン接種状況をみつつ、実施していく。		

5, その他

- ・評価2を下回る項目は昨年度より半減している。
- ・議題対象ではないが、学生相談のさらなる充実を行うべきである。